

協議会だより

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 広報部

大阪市東住吉区長居公園 1-32 大阪市長居障害者スポーツセンター内

TEL 06-6697-1402 FAX 06-6697-8613

平成 21 年 2 月 1 0 日

第 59 号

大阪府、大阪市、堺市と、選手団が参加した全国障害者スポーツの大会でしたが、オール大阪でみると参加者および獲得メダル数ともにトップでした。また新潟大会での大阪勢のさなる活躍を期待するとともに、指導者の皆さんも日々の活動で選手のために大阪における障害者スポーツのこれからを考える一助になればと、大阪府における北京パラリンピック記念イベント時の記念講演の概略を掲載しました。国、都道府県、市町村などの行政機関と大阪障害者スポーツ指導者協議会が、もっと連携して、地域に密着した障害者スポーツの在り方を考えていく必要があります。協議会会員の皆さんからのご意見をいただき、ともに悩み、ともに考えながら、スポーツ指導者協議会を発展させていきたいと思えます。そのためにも、次回の障害者スポーツ協議会の総会には、ぜひ出席して意見交換をしてください。よろしく願います。

大阪障害者スポーツ

指導者協議会から

「今後の障がい者スポーツの方向性について」 橋爪静夫 氏

☆障がい者スポーツ振興に向けての課題

- ①障がい者に対する理解【障がい者のもつ不便さを少し手伝うだけで、障がい者は自立できる】
- ②障がい者スポーツに対する理解【大会中心・一行事型からの脱却、スポーツの生活化と日常生活の中でそこへ行けばスポーツのできる施設・用具があり、スポーツ仲間や指導者がいる環境が必要】

☆障がい者スポーツ振興の方向性

- ①新大阪府スポーツ振興プランの策定【これまでの大阪府の障がい者計画やスポーツ振興プランの評価・修正をして、障がい者スポーツ振興計画との一元化を図る】
- ②障がい者スポーツ振興組織・体制の整備【国と地方におけるスポーツ行政の一元化により、各機関の役割分担の明確化を図る】
- ③国のスポーツ振興計画との連携【平成 13 年度から平成 22 年度までの概ね 10 年間の施策計画であり、生涯スポーツ社会の実現と国際競技力の向上を目指す計画との連携を図る】
- ④前記①から③の実現に必要な不可欠な基盤的施策

★指導者の養成・組織化 ★スポーツ施設の整備・拡充と役割（機能）の明確化

★スポーツプログラムの充実 ★スポーツ情報の収集・提供 ★財源の確保

橋爪先生は、大阪府内の公立中・高等学校教員として 19 年間勤務、その間、藤井寺工業高等学校においてバレーボール部を創設、公立高校で短期間に全国のトップチームに育てあげ、インターハイ、国体、選抜大会等で大阪代表チームの監督として活躍した。カナダにおける国際大会では、男子ジュニアチームを 26 連勝させ、ベストコーチに選ばれた。障がい者スポーツについては、昭和 38 年の第 1 回大阪府障がい者スポーツ大会から携わっており、2004 年第 4 回全国障がい者スポーツ大会大阪府選手団団長も務めた。現在は 30 団体の委員、役員等に就いている。

北京パラリンピック記念イベント

～北京パラリンピック知事賞詞・記念対談・記念講演～

平成 20 年 12 月 17 日（水） 大阪府庁新別館にて

■ 北京パラリンピック 知事賞詞贈呈式

2008 年北京パラリンピック銀メダリスト山本篤氏に橋本知事から「知事賞詞」が贈呈されました。

■ 記念対談

北京オリンピック・パラリンピックの出場を記念し、橋本知事と北京オリンピック銅メダリスト朝原氏、北京パラリンピック選手がこれからの障がい者スポーツについて対談しました。

【出席者】

橋本 徹 氏：大阪府知事
朝原 宣治 氏：北京オリンピック銅メダリスト

《北京パラリンピック選手》

山本 篤 氏（陸上競技）
生長 奈緒美 氏（水泳）
金木 絵美 氏（シッティングバレーボール）
菅原 奈緒子 氏（車椅子バスケットボール）
藤田 真理子 氏（陸上競技）
永易 雄 氏（ウィルチェアラグビー）
三阪 洋行 氏（ウィルチェアラグビー）

《コーディネーター》

橋爪 静夫 氏

■ 記念講演「今後の障がい者スポーツの方向性について」

講師： 橋爪静夫 氏

【(財)日本バレーボール協会副会長・
大阪府障がい者スポーツ振興協会理事】

講演の概要は 1 面に掲載しています。ぜひご覧ください。



編集後記

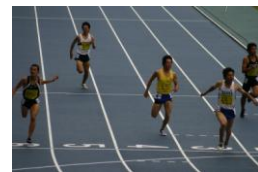
平成二十年度の 2 回目の協議会だよりです。HP ができてから会員への情報提供は、かなりリアルタイムでできています。そのかわりに協議会だよりでは、継続性のある連載的なもの、クラブ紹介や保存版になるような記事が掲載できないかなどと考えています。来年度以降はそのような方向性も考えながら協議会だよりと HP の連携を上手に使いながら、皆様への情報発信に努めていきたいと思えます。また会員の皆様からの障害者スポーツに関するいろいろな情報もお待ちしています。

広報部一同

大会スローガン

笑顔、元気、ともに未来へ 新たな一歩

障がいのある人もない人も大分の地で、たくさんの笑顔に出会い、元気があふれ、ともに未来に向かって新たな一歩を踏み出すことを願っています。



団体成績

- 優勝 サッカー 大阪府
- 優勝 グランドソフトボール 大阪府
- 優勝 男子バレーボール（聴覚） 大阪市
- 準優勝 女子バレーボール（聴覚） 大阪市
- 準優勝 バレーボール（精神） 大阪府

上記以外にも男子バスケットボール（大阪市）及び女子バスケットボール（大阪市）が、今大会に参加しました。

獲得メダル数は東京都が175個でトップ、2位は大分県の133個です。大阪は大阪府、大阪市、堺市の総合計で計算すると186個になり都道府県単位ではトップになります。オール大阪、がんばっています！！

取材記

大分大会を3日間取材しましたが、各競技の会場が離れていたため大阪勢の試合をすべて取材することは無理でした。各会場間の移動にはレンタカーを使用しましたが、3日間駆け回って延べ300km以上走りました。（鈴木）

チャレンジ！おおいだ大会

全国障害者スポーツ大会は、障がいの自立と社会参加を促進することを目的として、全国の身体、知的および精神に障がいのある方々が一堂に会して開催される、国内最大の障がい者スポーツの祭典で、大分県での大会が第8回大会になります。

今大会のマスコットは、大分県の豊かな自然を象徴する県鳥“めじろ”をモデルにした“めじろんです”。



選手団名	大阪府	大阪市	堺市	総合計	
参加延人数	129	82	40	251	
合計	総数	91	62	33	186
	金	48	31	17	96
	銀	28	20	12	60
	銅	15	11	4	30
陸上	金	22	12	12	46
	銀	15	8	5	28
	銅	5	4	1	10
水泳	金	12	14	2	28
	銀	5	6	1	12
	銅	1	3	1	5
アーチェリー	金	0	0	1	1
	銀	0	1	0	1
	銅	0	0	0	0
卓球	金	4	3	0	7
	銀	3	2	3	8
	銅	3	0	0	3
ボウリング	金	2	2	0	4
	銀	1	1	1	3
	銅	0	3	0	3
フライングディスク	金	8	0	2	10
	銀	4	2	2	8
	銅	7	1	2	10

個人競技

- ・陸上競技
- ・水泳
- ・アーチェリー
- ・卓球
- （サウンドテーブルテニスを含む）
- ・ボウリング
- ・フライングディスク

団体競技

- ・バスケットボール
- ・車椅子バスケットボール
- ・ソフトボール
- ・グランドソフトボール
- ・バレーボール
- ・サッカー
- ・フットベースボール

オープン競技

- ・ふうせんバレーボール
- ・卓球バレー

第9回全国障害者スポーツ大会は新潟県で開催されます！